

お知らせ FROM 雑賀幼稚園

R6年11月

いも掘り・焼いも

いも掘りと焼いも。土にさわり秋の風を感じて楽しいひと時。



87こ収穫
しました



みてみて、
大きいよ

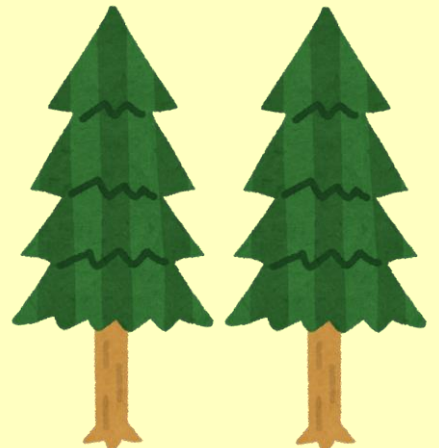


おいしい焼きいもが
できました

10/15
(火)

樹木学習を行いました

NPO法人もりふれ倶楽部から竹田正彦さんを講師に迎えました。園庭やたけのこ山をまわり、草木や木の実のことなど、子どもが目を輝かせるたくさんの話を聞きました。室内では木を使った工作をしました。



子どもたちに輝く瞳としなやかな心を ～豊かな本物体験と想像体験を～

錦織明さん（雑賀相信会会長、出雲かんべの里館長）を講師に迎え、上記のテーマで講話を聴きました。はじめに紙芝居『てぶくろ』を上演。園児たちも一緒に見ました。

講演から抜粋して紹介します。〔先人の教え〕①若槻礼次郎の書「此中有大器」（この中に大器有り）②澄川喜一の記憶「落書きをほめた担任の先生〔感性と理性〕①子どもの感性をまるごと受け入れる②豊かな感性を育てるために本物体験を③子どもは大人が思うよりずっと逞しい〔デジタルよりアナログ〕①昔話、絵本、紙芝居②しなやかな心を育てたい。



【保護者の感想】（抜粋）

- こどもの豊かな感性は10才頃まで、という話が印象的でした。本物体験ばかりの雑賀幼稚園は、あらためてすてきなだと思いました。
- むしろ親の方が広い心で発想力を伸ばすと、こどもとの関わり方が変わり、こどもの未来も変わってくるのだなど、大変参考になりました。
- こどもが帰ってくる時間には「おかえり」と言う大人がいることが大切、というお話が印象に残りました。
- 校長先生時代のお話やお子さんお孫さんとのエピソードなど、どのお話も興味深く、まだまだ聞いてみたい気分でした。

10/29
(火)

交通安全教室を行いました

松江警察署・駅前交番の皆様、清水様（雑賀地区交通安全対策協議会会長）の指導により、開きました。横断歩道の渡り方の練習をし、「はあとのお約束」の確認をしました。白バイやパトカー乗車体験もしました。



道路では



は しらない
あ そばない
と びださない

10/26
(土)

雑賀地区文化祭 展示作品

秋のいいものみつけた



Coffee Break



歯科医院に行った時、待ち時間にふと考えました。「医者はいつ病院に行くのだろうか」。例えば、耳鼻科医は五十肩で知り合いの整形外科に行く。その整形外科医は知り合いの歯科医院に行く。その歯科医は花粉症で知り合いの耳鼻科へ行く。この例は知人から聞いた実話です。

休診日のわずかな時間を使って行くのでしよう。自由に病院に行けないのが医者のつらいところ。そうやすやすと病気にならない医者の存在はありがたいものです。

さて、件の歯科医は、自分の歯をだれに治療してもらうのか。知り合いの歯医者あるいは、わが歯科医院の助手なのか。こんど聞いてみることにしよう。

